

<p>ページ 付属資料 6-1</p>	<p>修正前</p> <p>付属資料6:高靱性セメントボードの割付け図(例)</p> <p>①嵩上げなし、基部定着ありタイプ 断面図 A-A側面図</p> <p>②嵩上げなし、基部定着なしタイプ 断面図 A-A側面図</p> <p>③嵩上げあり、基部定着ありタイプ 断面図 A-A側面図</p> <p>高靱性セメントボード 標準サイズ 1820mm × 797mm × 8.5mm</p>	<p>修正後</p> <p>付属資料6:高靱性セメントボードの割付け図(例)</p> <p>①嵩上げなし、基部定着ありタイプ 断面図 A-A側面図</p> <p>②嵩上げなし、基部定着なしタイプ 断面図 A-A側面図</p> <p>③嵩上げあり、基部定着ありタイプ 断面図 A-A側面図</p> <p>高靱性セメントボード 標準サイズ 1820mm × 797mm × 6.5mm</p> <p>高欄内側のボードの重ね継手部の寸法を記入(モルタル厚 52mm, アンカー位置上端から 50mm, 重ね継手長 200mm)</p>
-----------------------------	--	--

<p>付属資料 3-17</p>	<p>(a) アンカーボルトの設計引張耐力 P_{ud} の算出</p> <p>①アンカーボルトの設計引張耐力 P_{ud} の算出</p> $P_{ud} = \min (P_{ud1}, P_{ud2})$ <p>P_{ud1} : アンカーボルト周辺のコンクリートの破壊により決まる場合の設計引張耐力 P_{ud2} : アンカーボルトの降伏より決まる場合の設計引張耐力</p> <p>②P_{ud1} の算出</p> $P_{ud1} = P_{u0} / \gamma_b$ $P_{u0} = \{ \alpha \times 6.3 \times p \times f \times (D + 5.5 \times f) \times (f_{cd} / 10)^{1/3} + 2.1 \times p \times D \times (L - 4 \times f) \times (f_{cd} / 10)^{2/3} \} / 10$ <p>ϕ : アンカーボルト径 (mm), ここでは 16mm D : 削孔径 (mm), ここでは 19mm f_{cd} : コンクリートの設計圧縮強度 (N/mm²), ここでは 24 N/mm² L : 埋込み長さ (mm), ここでは 134mm (削孔深さ 150mm - ϕ) α : ヘリあき寸法, アンカー間距離不足時の低減係数。ここでは 1.0 γ_b : 部材係数で, 1.5 とする。</p> $P_{u0} = \{ \alpha \times 6.3 \times p \times f \times (D + 5.5 \times f) \times (f_{cd} \times 10)^{1/3} + 2.1 \times p \times D \times (L - 4 \times f) \times (f_{cd} \times 10)^{2/3} \} / 10$ $= 21,057 + 33,887 = 54,943\text{N}$ $P_{ud1} = 54,943 / 1.5 = 36,629\text{N}$	<p>(a) アンカーボルトの設計引張耐力 P_{ud} の算出</p> <p>①アンカーボルトの設計引張耐力 P_{ud} の算出</p> $P_{ud} = \min (P_{ud1}, P_{ud2})$ <p>P_{ud1} : アンカーボルト周辺のコンクリートの破壊により決まる場合の設計引張耐力 P_{ud2} : アンカーボルトの降伏より決まる場合の設計引張耐力</p> <p>②P_{ud1} の算出</p> $P_{ud1} = P_{u0} / \gamma_b$ $P_{u0} = \{ \alpha \times 6.3 \times \pi \times \phi \times (D + 5.5 \times \phi) \times (f_{cd} \times 10)^{1/3} + 2.1 \times \pi \times D \times (L - 4 \times \phi) \times (f_{cd} \times 10)^{2/3} \} / 10$ <p>ϕ : アンカーボルト径 (mm), ここでは 16mm D : 削孔径 (mm), ここでは 19mm f_{cd} : コンクリートの設計圧縮強度 (N/mm²), ここでは 24 N/mm² L : 埋込み長さ (mm), ここでは 134mm (削孔深さ 150mm - ϕ) α : ヘリあき寸法, アンカー間距離不足時の低減係数。ここでは 1.0 γ_b : 部材係数で, 1.5 とする。</p> $P_{u0} = \{ \alpha \times 6.3 \times \pi \times \phi \times (D + 5.5 \times \phi) \times (f_{cd} \times 10)^{1/3} + 2.1 \times \pi \times D \times (L - 4 \times \phi) \times (f_{cd} \times 10)^{2/3} \} / 10$ $= 21,057 + 33,887 = 54,943\text{N}$ $P_{ud1} = 54,943 / 1.5 = 36,629\text{N}$
----------------------	--	--